

**「終活」をする理由は「家族に迷惑をかけたくないから」が7割、
女性の「終活」意向がより高い結果に**

- 終活に関する調査 -

URL: <https://research.rakuten.co.jp/report/20180215/>

楽天リサーチ株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：田村 篤司、以下「楽天リサーチ」）は、「終活に関する調査」をインターネットで実施しました。今回の調査は、2018年1月19日（金）から1月20日（土）の2日間、楽天リサーチに登録しているモニター（約230万人）の中から、全国の20代から60代の男女1,000人を対象に行いました。

■□ 調査結果概要 □■

■「終活」という言葉を聞いたことがある人は96.6%。「終活」の意向がある人は39.1%。女性の意向がより高い結果に

「終活」という言葉を知っているかを聞いたところ、「知っている」（78.7%）と「聞いたことはあるが、よく知らない」（17.9%）と回答した人の合計が96.6%となり、多くの人が「終活」という言葉を聞いたことがあることが分かった。

「終活」の意向があるかを聞いたところ、「分からない」（43.5%）と「はい」（39.1%）がほぼ同等の結果となった。「終活」の意向があると回答した人を性年代別に見ると、全体的に女性の方がより意向が高く（男性：41.4%、女性：58.6%）、年齢が上がるとその傾向が顕著になった。

■すでに「終活」を実施している人は1割未満

「終活」をする意向のある人に、すでに「終活」を実施しているかを聞いたところ、「予定はないが、時期が来たら始めたい」（76.5%）が最も高く、「近いうちに始める予定」（10.2%）、「実施している」（7.9%）、「実施する予定はない」（5.4%）となり、9割以上の人が「終活」に対して何らかのアクションを起こしている、または起こしたいと考えていることが分かった。

■8割以上の人「エンディングノート」を認知。しかし「用意をしていない」人がほとんど

「エンディングノート」を知っているかを聞いたところ、「知っている」（51.9%）、「聞いたことはあるが、よく知らない」（30.9%）となり、8割以上の人認知していることが分かった。

しかし、実際に「遺書」または「エンディングノート」を用意しているかを聞いたところ、「用意していない」と答えた人が「遺書」は90.0%、「エンディングノート」は86.0%となり、9割弱は手をつけていない結果となった。

「用意している」と回答した人にその方法を聞いたところ、「遺書」と「エンディングノート」とともに、「普通のノート」や「既製品・市販品」などアナログな方法で準備をしている人が比較的多かった。

■「終活」を始めたい年齢は4割以上が60代

すでに「終活」を実施している人、始めたいと回答した人に、具体的に何歳頃に始めたいかを聞いたところ、「65～69歳」が21.6%で最も高く、「60～64歳」(20.5%)、「70～74歳」(18.1%)、「50～54歳／55～59歳」(6.2%)と続いた。60代が42.1%と最も多くを占めた。

年代別にみると、20～50代では60代で「終活」を始めたいという人が最も多く、60代だけは70代が最も多かった。

■「終活」をする理由は「家族に迷惑をかけたくないから」が7割以上

「終活」をする予定がある人、時期が来たら始めたいと考えている人に「終活」をする理由を聞いたところ、「家族に迷惑をかけたくないから」が71.4%と最も高く、「病気や怪我、介護生活で寝たきりになった場合に備えるため」(48.6%)、「葬儀などの希望を家族に伝えるため」(38.9%)が続いた。

男女別に見ると、ほとんどの理由で女性が男性を上回り、項目選択個数の平均を見ると男性2.5個、女性3.2個と0.7個の差が出る結果となった。

■「終活」に対して「特に不安はない」と考えている人は3割強

「終活」について不安に感じることを聞いたところ、「特に不安はない」と回答した人が35.4%と最も高く、「何から手をつけたら良いかわからない」(31.4%)、「自分の死後に希望通り物事が進むか不安」(22.4%)、「いつから始めるべきかわからない」(19.5%)が続いた。

■人生でやり残したことは「趣味」が3割強で最も高い結果に

「終活」を通じて人生でやり残したと感じるものがあるかを聞いたところ、「趣味」が最も高く、35.5%という結果となり、続いて「子ども・孫の誕生や成長を見届ける」(22.6%)、「仕事」(16.1%)と続いた。「やり残したことはない」と回答した人も25.8%と高かった。

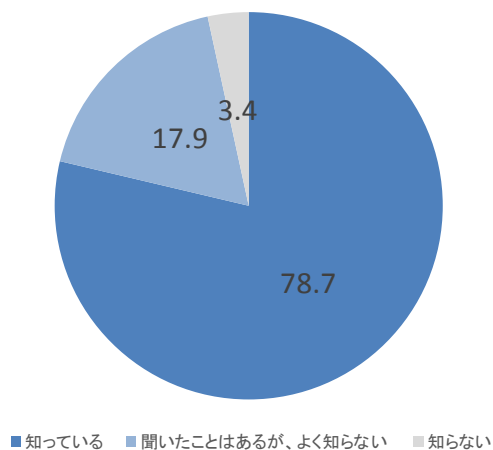
■□ 調査結果 □■

■「終活」という言葉を聞いたことがある人は96.6%。「終活」の意向がある人は39.1%。女性の意向がより高い結果に

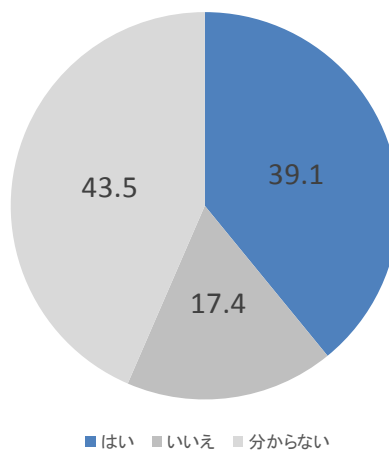
「終活」という言葉を知っているかを聞いたところ、「知っている」(78.7%)と「聞いたことはあるが、よく知らない」(17.9%)と回答した人の合計が96.6%となり、多くの人々が「終活」という言葉を聞いたことがあることが分かった。

「終活」の意向があるかを聞いたところ、「分からない」(43.5%)と「はい」(39.1%)がほぼ同等の結果となった。「終活」の意向があると回答した人を性年代別に見ると、全体的に女性の方がより意向が高く(男性:41.4%、女性:58.6%)、年齢が上がるとその傾向が顕著になった。

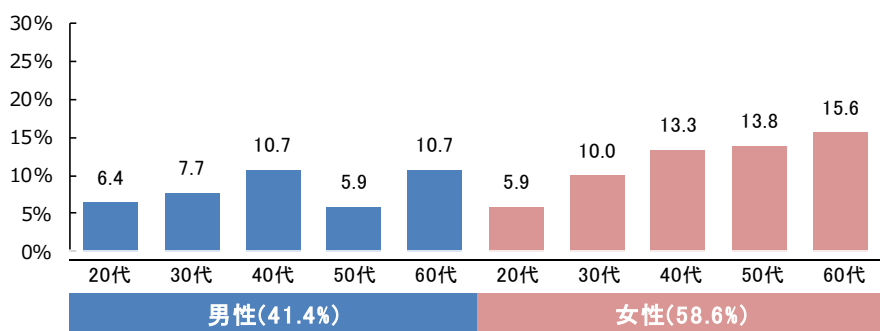
◇「終活」という言葉を知っていますか (n=1000) 単位:%



◇「終活」の意向がありますか (n=1000) 単位:%



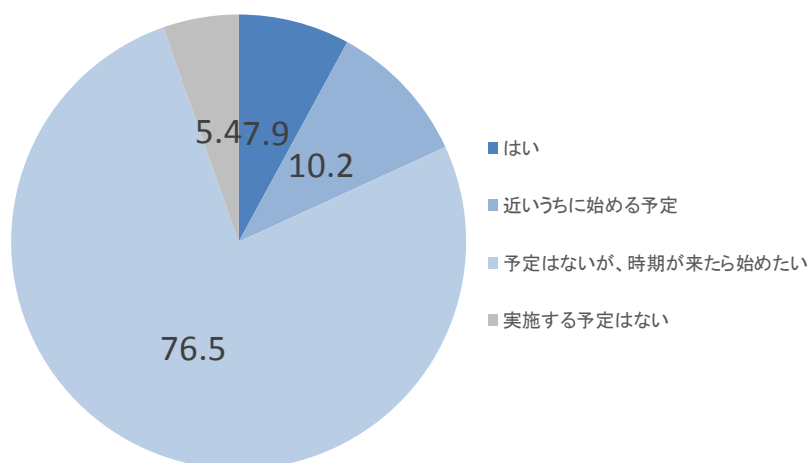
◇「終活」の意向者内訳 (n=391) 単位:%



■すでに「終活」を実施している人は1割未満

「終活」をする意向のある人に、すでに「終活」を実施しているかを聞いたところ、「予定はないが、時期が来たら始めたい」(76.5%)が最も高く、「近いうちに始める予定」(10.2%)、「実施している」(7.9%)、「実施する予定はない」(5.4%)となり、9割以上の人々が「終活」に対して何らかのアクションを起こしている、または起こしたいと考えていることが分かった。

◇「終活」を実施していますか (n=391) 単位:%



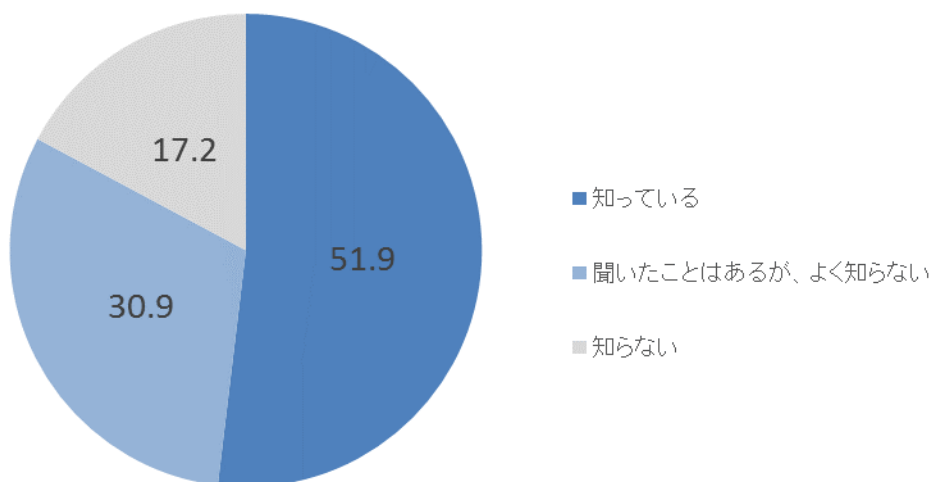
■8割以上の人「エンディングノート」を認知。しかし「用意をしていない」人がほとんど

「エンディングノート」を知っているかを聞いたところ、「知っている」(51.9%)、「聞いたことはあるが、よく知らない」(30.9%)となり、8割以上の人認知していることが分かった。

しかし、実際に「遺書」または「エンディングノート」を用意しているかを聞いたところ、「用意していない」と答えた人が「遺書」は90.0%、「エンディングノート」は86.0%となり、9割弱は手をつけていない結果となった。

「用意している」と回答した人にその方法を聞いたところ、「遺書」と「エンディングノート」とともに、「普通のノート」や「既製品・市販品」などアナログな方法で準備をしている人が比較的多かった。

◇「エンディングノート」を知っていますか (n=1000) 単位:%



◇「遺書」または「エンディングノート」の用意有無。用意している場合はその方法 (n=1000) 複数選択 単位:%

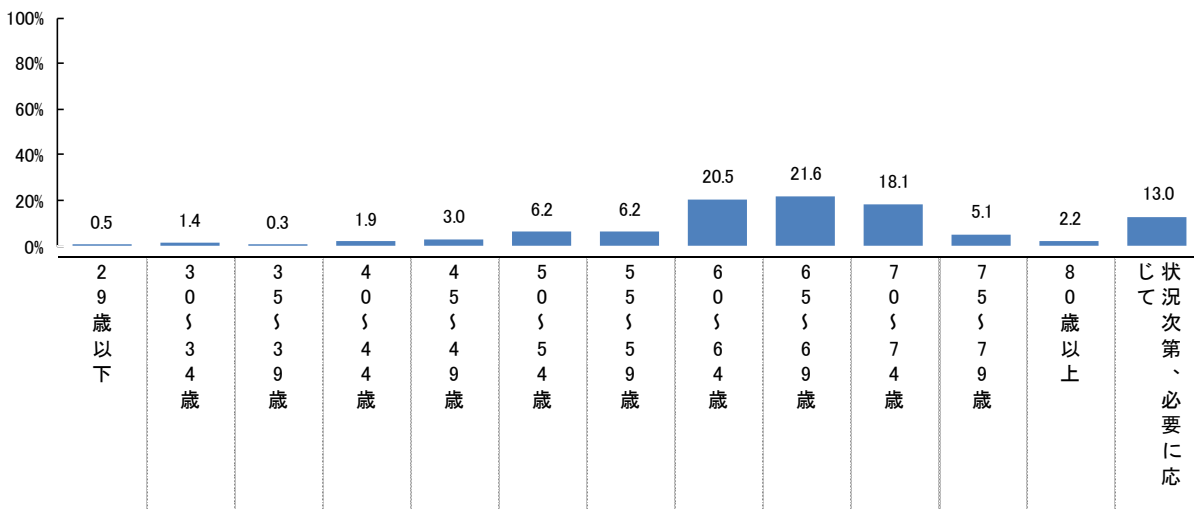


■「終活」を始めたい年齢は4割以上が60代

すでに「終活」を実施している人、始めたいと回答した人に、具体的に何歳頃に始めたいかを聞いたところ、「65～69歳」が21.6%で最も高く、「60～64歳」(20.5%)、「70～74歳」(18.1%)、「50～54歳/55～59歳」(6.2%)と続いた。60代が42.1%と最も多くを占めた。

年代別にみると、20～50代では60代で「終活」を始めたいという人が最も多く、60代だけは70代が最も多かった。

◇「終活」を始めたい年齢 (n=370) 単位:%



◇【年齢別】「終活」を始めたい年齢 単位:%

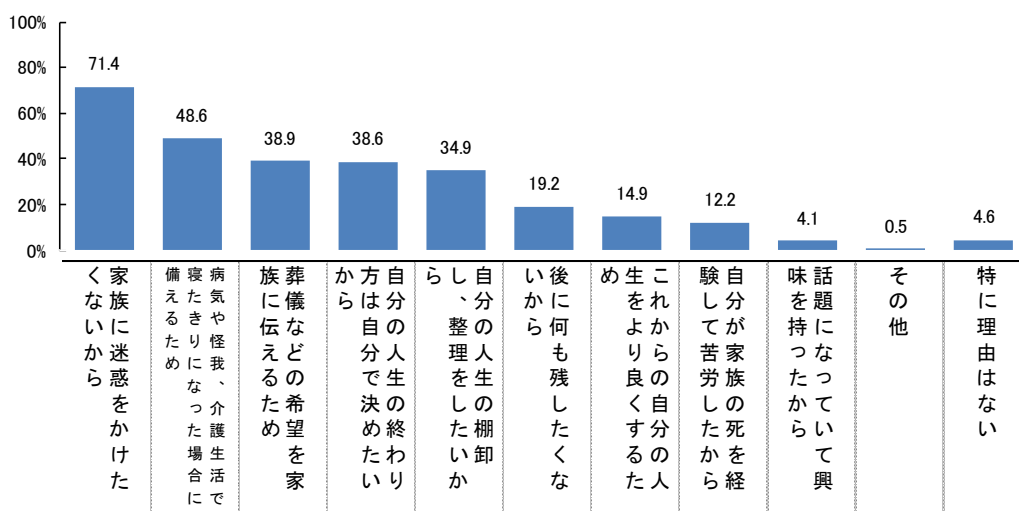
		終活を始めたい年齢							状況次第、必要に応じて
(%)		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	
実年齢	20代 (n=45)	4.4	2.2	4.4	13.3	51.1	8.9	4.4	11.1
	30代 (n=60)	0.0	8.3	10.0	13.3	41.7	6.7	3.3	16.7
	40代 (n=90)	0.0	0.0	11.1	15.6	45.6	15.6	0.0	12.2
	50代 (n=74)	0.0	0.0	0.0	24.3	40.5	18.9	1.4	14.9
	60代 (n=101)	0.0	0.0	0.0	0.0	36.6	49.5	3.0	10.9

■「終活」をする理由は「家族に迷惑をかけたくないから」が7割以上

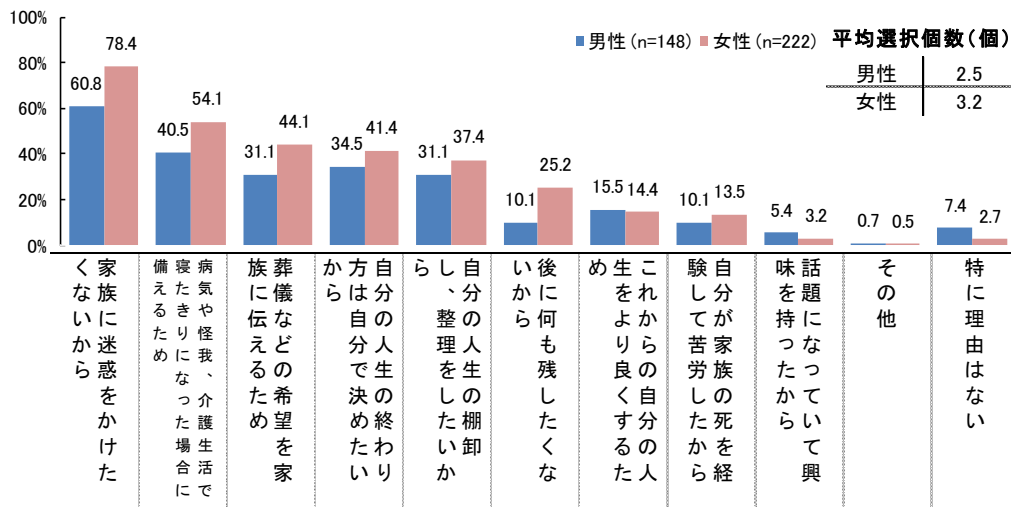
「終活」をする予定がある人、時期が来たら始めたいと考えている人に「終活」をする理由を聞いたところ、「家族に迷惑をかけたくないから」が71.4%と最も高く、「病気や怪我、介護生活で寝たきりになった場合に備えるため」(48.6%)、「葬儀などの希望を家族に伝えるため」(38.9%)が続いた。

男女別に見ると、ほとんどの理由で女性が男性を上回り、項目選択個数の平均を見ると男性2.5個、女性3.2個と0.7個の差が出る結果となった。

◇「終活」をする(したい)理由 (n=370) 単位:%



◇【男女別】「終活」をする（したい）理由（n=370）単位:%

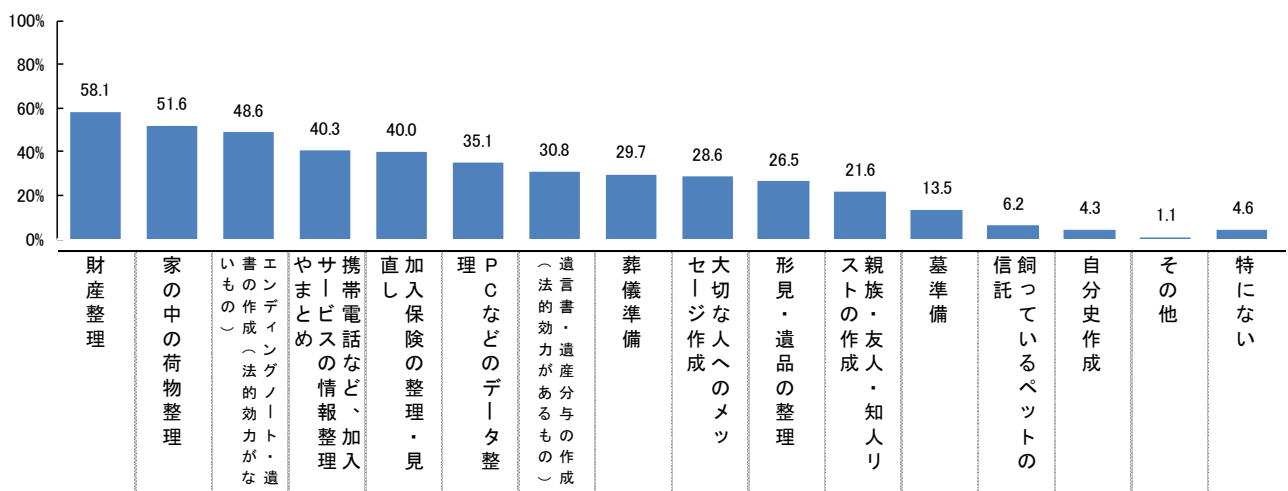


■「終活」準備において半数以上の人「財産整理」を意識

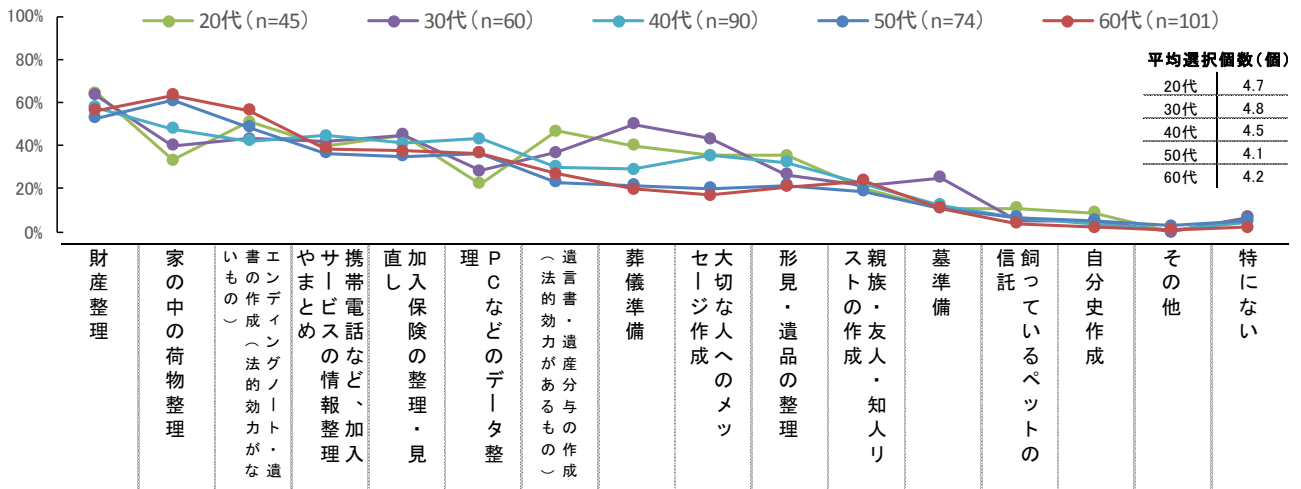
「終活」をする予定がある人、時期が来たら始めたいと考えている人に「終活」においてどのようなことを準備しておきたいかを聞いたところ、「財産整理」が 58.1%と最も高く、「家の中の荷物整理」(51.6%)、「エンディングノート・遺書の作成（法的効力はないが、意思を伝えられるものの作成）」(48.6%)が続いた。

また、年代別に見ると、20代では「遺言書・遺産分与の作成」(46.7%)と「形見・遺品の整理」(35.6%)など、30代では「葬儀準備」(50.0%)と「大切な人へのメッセージ作成」(43.3%)、40代では「PCなどのデータ整理」(43.3%)、50代、60代では「家の中の荷物整理」(50代: 60.8%、60代: 63.4%)が他の年代に比べてやや高いことが分かった。

◇「終活」において、しておきたいこと（n=370）複数選択 単位:%



◇【年代別】「終活」において、しておきたいこと 複数選択 単位:%

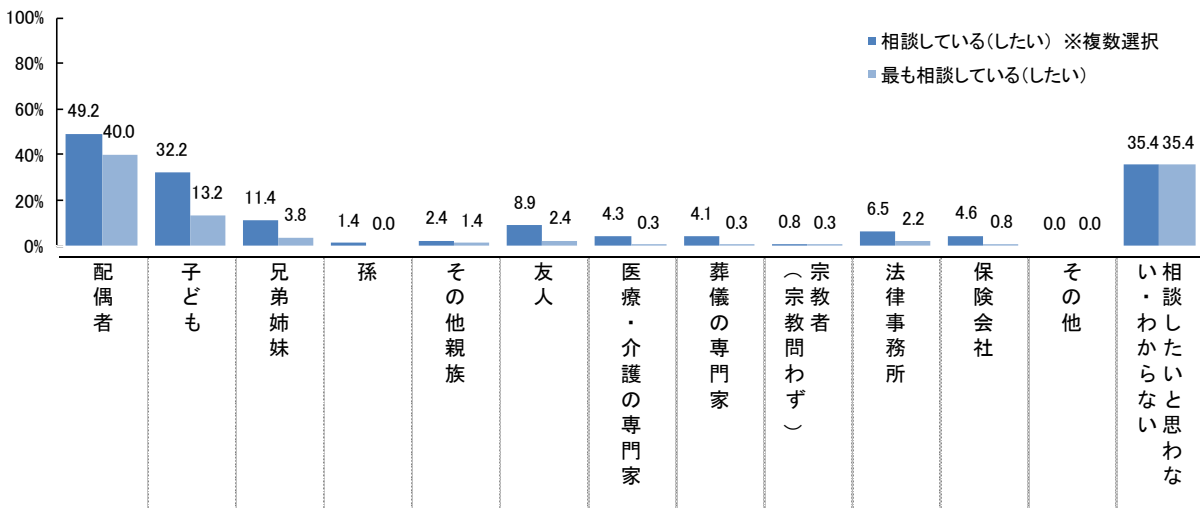


■「終活」の相談および内容を共有する相手は「配偶者」が最も高い結果に

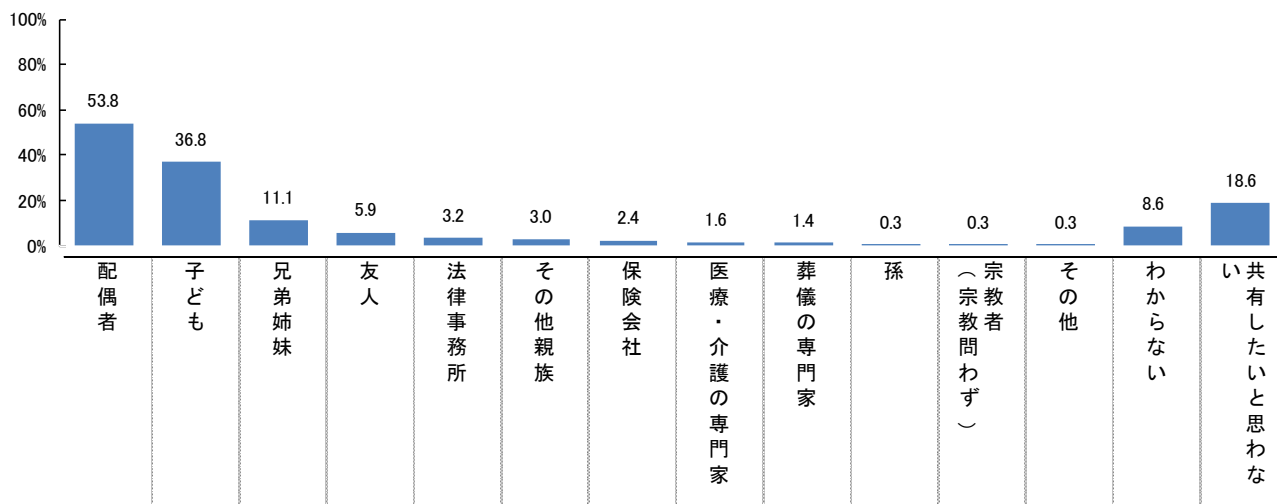
「終活」について「相談している(したい)人」と「最も相談している(したい)人」について聞いたところ、どちらも「配偶者」(相談:49.2%、最も相談40.0%)が最も高く、続いて「子ども」(相談:32.2%、最も相談13.2%)、「兄弟姉妹」(相談:11.4%、最も相談:3.8%)という結果になった。「相談したいと思わない・わからない」の割合も35.4%と高い結果となった。

続いて「終活」の内容について誰と共有している(または、しておきたい)かを聞いたところ、こちらも「配偶者」が53.8%と最も高く、続いて「子ども」(36.8%)、「兄弟姉妹」(11.1%)という結果になり、実際に相談している人と同じ順番となった。

◇「終活」について「相談している(したい)人」と「最も相談している(したい)人」(n=370) 単位:%



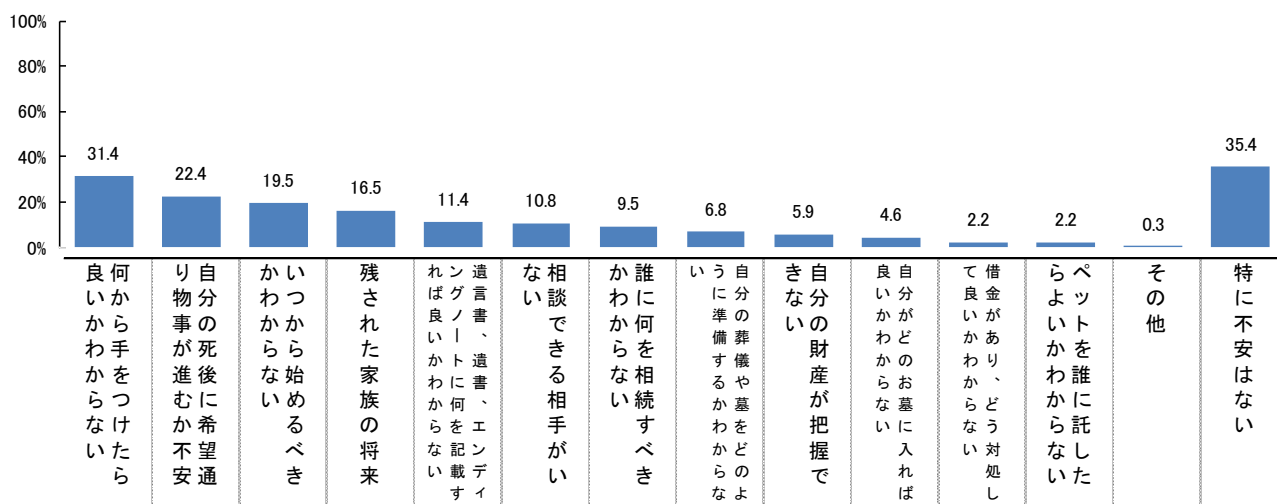
◇「終活」の内容について共有している人 (n=370) 複数選択 単位:%



■「終活」に対して「特に不安はない」と考えている人は3割強

「終活」について不安を感じることを聞いたところ、「特に不安はない」と回答した人が35.4%と最も高く、「何から手をつけたら良いかわからない」(31.4%)、「自分の死後に希望通り物事が進むか不安」(22.4%)、「いつから始めるべきかわからない」(19.5%)が続いた。

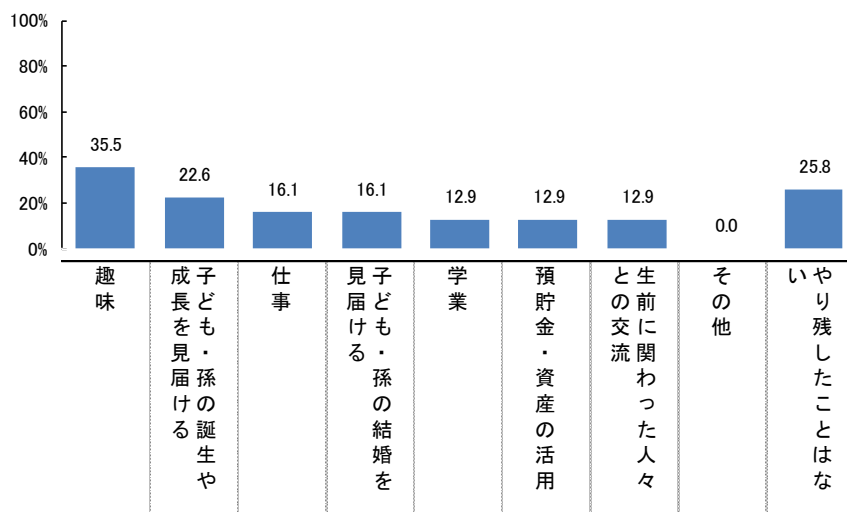
◇「終活」について不安を感じること (n=370) 複数選択 単位:%



■人生でやり残したことは「趣味」が3割強で最も高い結果に

「終活」を通じて人生でやり残したと感じるものがあるかを聞いたところ、「趣味」が最も高く、35.5%という結果となり、続いて「子ども・孫の誕生や成長を見届ける」(22.6%)、「仕事」(16.1%)と続いた。「やり残したことはない」と回答した人も25.8%と高かった。

◇人生でやり残したこと (n=31) 複数選択 単位:%



より詳細な調査結果は以下よりご覧いただけます。

<https://research.rakuten.co.jp/report/20180215/>

【調査概要】

- 調査エリア : 全国
- 調査対象者 : 20歳～69歳 男女
- 回収サンプル数 : 1,000 サンプル
- 調査期間 : 2018年1月19日 から 1月20日
- 調査実施機関 : 楽天リサーチ株式会社

以上